



# ŌMIYA NEWS



No.72 2024年11月7日 JR東労組大宮地本

厳しい労働実感・苦しい生活実感から満額回答を強く求める！

## 年末手当満額獲得総決起集会



傲慢な経営姿勢を許さず、仲間と共に  
組織強化・拡大を実現し、満額回答を勝ち取ろう！

11月7日、申4号第2回団体交渉を終えて、レイボックホールにおいて「11・7 年末手当満額獲得総決起集会」を開催しました。集会には100名を超える仲間が結集し、職場実態・経営姿勢に対する怒りが多く出されました。



### ＜参加者からの発言＞

苦しい職場現実から経営姿勢に対する強い怒りや不満が噴出！

- ◆1回目交渉の経過を見てもう一段の増収やコストダウンの必要性を目にして怒りを持った。職場の課題は要員不足。希望がかなわないため退職した者も。厳しい状況に対したたかいを作り執行部が3名拡大。再加入も1名実現。本部激励行動も展開した。
- ◆アンケートで出されている声、先の見えない企画業務に押し込まれている現実、そこへの努力を会社が求めている。職場には余裕がなく、精一杯の中で苦しんでいる。たたかいの中、仲間が再加入。会社からの理不尽な対応に嫌気がして加入を決意。
- ◆職場で働く中で、理不尽な状況を感じていた。組合に所属することで理不尽な扱いを受けても共に抗議し立ち向かう事ができる。
- ◆昨日の交渉内容を未加入者と話したところ、「またそんなこと言っているのか」との怒りが出され、職場で不満が高まっている。
- ◆交渉議事録を読んで現場軽視・経営第一の会社姿勢明らかに。駅の職場現実は大変厳しい。混雑状況。インバウンドで改札にも徒列。出札も大混雑。臨時列車が多く立ち番が立ちっぱなしに。真実を知り騙されない努力が必要。新執行委員と共に手書きの掲示を作成した。
- ◆増えた業務について、車掌相互運用、ワンマン対応、連結・分割業務、出改札、貫通、車内清掃、無人駅の車いす、改札が閉まっているときは遺失物扱いもある。仕事がこんなに増えているのに賃金は上がらない。
- ◆5日から5日間の総対話を実施。75名が参加。現状を一致させながら議論している。出さない理由ばかりを述べている会社に対し、声が出されている。未加入者とも話をしたが、東労組がしっかり交渉して勝ち取っていることを訴えた。
- ◆私たちに責任を押し付け、苦勞を見ていない会社姿勢に怒りを感じる。負担は増大している。情報は共有し、未加入者にも訴えている。
- ◆座談会に未加入者も参加。交渉の速報を出して対話してきた。職場の中で業務量が増えているので、ほしいという声。賃金以外ではモチベーションが上がらないとの声。
- ◆企画業務が増えて賃金が減っている。明けで昼まで残り企画業務を行っている。会社は客観的に見ると言うが、数字のみを見て判断するのであろう。そこに対し組合員の努力を見るべきだと声を上げ、たたかいを作り出す。
- ◆会社回答に怒りを感じる。他駅勤務や企画業務など様々やってきたのにこのような姿勢に憤りを感じる。



川澄執行委員長から中央本部  
助川執行副委員長に檄布を渡す



交渉報告を頂いた、中央  
本部熊澤業務担当部長

増収増益は全社員の奮闘の成果だ！！  
交渉力を高めるため、組織強化・拡大を勝ち取ろう！

